

第 36 回 群馬周産期研究会総会

日時：2020 年 10 月 17 日（土曜日）14:00～

場所：WEB 開催

PROGRAM

プログラム

《参加のご案内》

10月15日（木）13時までに、事前登録用 URL、もしくは QR コードからお申込みください。お申込みいただくと、こちらから返信メールが届きます。研究会当日は、メール内の「[ここをクリックして参加](#)」をクリックしてご参加ください。パスコードは返信メールに記載されています。なお、研究会は14時開催ですが、ZOOM ミーティングは13:45分より入室可能です。

※各学会等の単位付与に参加確認を要するため、ZOOM ミーティングは録画させていただきます。研究会当日、参加方法などご不明点がございましたら、070-7594-7253 または 070-7594-7256 までお電話ください。

事前登録用 URL

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/upckd-mtqjsjG9JUL-ZmZTaLJkqUBMLs59dy>

QR コード



1. 開会のご挨拶 (14:00～14:05)

群馬周産期研究会会長

群馬大学大学院 医学系研究科 産科婦人科学教授

岩瀬 明先生

2. 一般演題 (14:05～15:35) <<発表8分：質疑応答2分>>

座長：群馬大学医学部附属病院産科婦人科助教

井上 真紀 先生

1) 妊娠中期に診断に至った外陰部悪性腫瘍の2例

群馬大学医学部附属病院産科婦人科

上原理紗、井上真紀、田中亜由子、内山陽介、森田晶人、日下田大輔、亀田高志、篠崎博光、岩瀬明

2) 汎血球減少と痙攣発作が生じ、HELLP症候群との鑑別に苦慮した症例

JCHO 群馬中央病院産婦人科

周藤 周、伊藤理廣、矢崎淳、安部和子、太田克人

3) 非典型的な経過により娩出時期の決定に苦慮した胎児小腸軸捻転症の一例

群馬県立小児医療センター産科

飯野彩奈、村上麻耶、木暮さやか、京谷琢治

4) 胎児診断し得なかった胎児卵巣嚢腫の1例

群馬県立小児医療センター産科

木暮さやか、村上麻耶、飯野彩奈、京谷琢治

休憩 10分

5) 下垂体機能低下症を合併した早産児の3例

群馬県立小児医療センター新生児科

福田一代、丸山憲一、小泉亜矢、市之宮健二、鏑木浩太

6) 胎児脳室拡大・頭囲拡大を契機に診断された、Megalencephaly with polymicrogyria、polydactyly and hydrocephalus (MPPH) 症候群の1例

桐生厚生総合病院小児科¹⁾、昭和大学医学部小児科学講座²⁾

小林未奈¹⁾、島田正晴¹⁾、石北悦子¹⁾、齊藤亜希子¹⁾、関根和彦¹⁾、浦野博央¹⁾、袖野玲子¹⁾、鈴木尊裕¹⁾、大木康史¹⁾、桑島信¹⁾、加藤光広²⁾

7) 中期中絶におけるグリーンケア

フクイ産婦人科クリニック

山崎夏海、井野京子、須藤千愛、熊澤未希、上野妙子、岡田香織、田村正明

8) COVID-19 妊産婦の受け入れに関する活動

前橋赤十字病院 産婦人科病棟

小宮山のぞみ、上村麻優子、関井裕子、山口絵理、曾田雅之

3. 群馬周産期研究会総会 (15:35～15:50)

～休憩～ (15:50～16:00)

4. 特別講演 (16:00～17:00)

座長：群馬大学大学院保健学研究科教授

篠崎 博光 先生

演題：「周産期医療のしくみ」

講師：横浜市立大学産婦人科学講座准教授

倉澤健太郎 先生

5. 閉会のご挨拶

第36回群馬周産期研究会会頭

群馬大学大学院保健学研究科教授

篠崎 博光 先生

- 日本産婦人科医会会員には、研修シールが配布されます。後日、事前登録されたご住所に送付いたします。
- 日本周産期・新生児医学会 周産期専門医には更新 2 単位（加えて筆頭演者に 2 単位）、および一般講演筆頭演者には受験用 10 単位が交付されます。後日、事前登録されたご住所に研修シールを送付いたします。
- 日本産科婦人科学会単位、日本専門医機構認定学術集会参加単位および、特別講演の日本専門医機構認定産婦人科領域講習受講単位は申請中です。
- 日本医師会生涯教育講座は申請中です（1 単位）。
カリキュラムコード 6. 医療制度と法律（0.5 単位） 71. 流・早産および満期産（0.5 単位）
- 本年は、日本小児科学会の単位は付与できません。

事務局：群馬大学医学部附属病院周産母子センター

〒371 - 8511 群馬県 前橋市 昭和町 3-39-22

TEL&FAX 027-220-8429

共催：群馬周産期研究会 / 群馬県医師会



INTERCEED®
Absorbable Adhesion Barrier
酸化再生セルロース・合成吸収性癒着防止材

体内に埋植後、24時間でゲル状の膜を形成、腹膜の再生に必要な7日から10日間患部を覆う
埋植後約4週間で完全吸収されます

